

市町村指定文化財取材票 《表》

取材日	2023年	11月	22日	(記入者) 河添正雄	
取材参加者	大谷	小倉	河添	神野	鈴木
	仲	西田	東辻	本井	
取材対象先	橿原市：東の平田家（旧旅籠）				

所在地	橿原市北八木町2丁目1-1				
所有者（取材 対応者）名	橿原市（橿原市文化財保存活用課 **課長補佐)(個人情報守秘)		連絡先 0744-47-1315		
	PCアドレス bunkazai@city.kashihara.nara.jp				

取材申込	申込先・行政名など：橿原市魅力創造部 観光政策課				
------	--------------------------	--	--	--	--

市町村 指定文化財	彫刻	軀			
	建造物	1棟	東の平田家（旧旅籠） 2010（平成22）年6月25日指定		

文化財指定理由	大和の重要な街道「下ツ道」「横大路」沿いで、江戸時代の風情を残している。				
---------	--------------------------------------	--	--	--	--

文化財の状況

	設備・対策・点検・通知方法など	記入者の感想
防火対策	各部屋に煙を感知する火災報知器が設置されている。また、年一回消防訓練をしている。	防火設備としては一般家屋と大きく変わらないが、年一回の消防訓練も実施されており、大きな問題は無いと思われる。交通量が多いため、車による破損事故が心配。

	被害の有無、対策など	記入者の感想
獣害対策	街中なので、小動物が入ってくることはないが、鳥（ツバメ）が舞い込んでくることがあるため、対策を講じている。	郊外や山中の寺社のような獣害は心配ないと思う。

保存～継承 へ 苦勞と 今後の課題 と対策	市民にも知らない方が多いため、年2回イベントを開催し、PRに努めている。二階は貸室として一般に開放しており、年間30回程度の利用がある。貸室として活用しながら経過観察をし、必要に応じて修繕等を検討していきたい。コロナ前は9,000人/年程度の入館者があったが、コロナで大きく減少した。最近レンタルサイクルで藤原京へ訪れる外国人観光客が、途中立寄るケースも増えてきた。				
--------------------------------	---	--	--	--	--

取材を終えて感じた文化財保護状況と今後の課題（修復、維持、管理、環境など）

近世にはお伊勢参りなどで賑わった街道筋に面しており、現在は適切に管理保存されていると思われるが、街並み全体としては、風致地区にも指定されておらず、将来に渡っての景観保存としては不安も感じた。貴重な文化遺産を守るためにも、何らかの規制も必要となるのではないかとと思われる。					
---	--	--	--	--	--

市町村指定文化財取材票<<裏>>

取材日	2023年	11月	22日	(記入者) 河添正雄	
取材参加者	大谷	小倉	河添	神野	鈴木
	仲	西田	東辻	本井	
取材対象先	檀原市：東の平田家（旧旅籠）				

<写真撮影許可済み

文化財指定名 東の平田家（旧旅籠）

文化財（正面写真）	文化財（角度を変えて、写真）
	
文化財（札ノ辻の全体写真）	気になる部位の写真（景観に合わない電線）
	
文化財の由緒などを記入	所有社寺や地域（廃寺等）の歴史や特徴を記入
<p>東の平田家（旧旅籠）は、18世紀後半から19世紀前半に建てられた江戸時代の旅籠の風情を伝える建物である。古代の「下ツ道」と「横大路」の交差点「札ノ辻」に面している。横大路は江戸時代にはお伊勢参りの参詣道「伊勢本街道」となり、大いに賑わった。現在は改修され「八木札ノ辻交流館」として、2012年から一般公開されている。</p>	<p>『古事記』『日本書紀』では、初代天皇の神武天皇が、紀元前660年に檀原宮で即位したと伝えている。694年には、日本初の都城である「藤原京」が、持統天皇により檀原の地に造営された。中世の檀原は、「横大路」「下ツ道」がお伊勢参りや熊野詣の人々で賑わった。松尾芭蕉や本居宣長、吉田松陰など著名人も訪れている。近世においては、一向宗の寺内町として栄えた今井町が知られる。</p>